



VOLKSWAGEN UP! × DEAN CROSS COUNTRY

CamprimeUP!

ちょい足しカスタムが予想を超える出来栄へ
キャンプ仕様に大変身したフォルクスワーゲン up!

日本国内に導入され、なにかと話題も多かったフォルクスワーゲンup!。生産終了から数年が経ち、中古車市場にはオートローン組まなくても購入できそうな、お手軽な価格帯の車両も数多く見られるようになってきた。ベース車両が安価であれば、その分カスタムにも予算を割ける。目敏くも、いち早く反応したのはやっぱり水冷フォルクスワーゲンの専門店だ。ベース車両にちょい足しのカスタムで仕上げたライトカスタムの一台は、日常使用はもちろん、アウトドアフィールドへ持ち出しても絵になる一台に仕上がった。

CONTACT_CRIMSON (WHEEL) WEB_ <https://www.dean-wheels.com>
CONTACT_IMPRIME (車両) WEB_ <https://www.imprime.jp>

ベース車両は4ドアモデルの「HIGH up!」。
トルネードレッドのボディカラーはそのままに、ちょい足しのカスタムを施してある。



オリジナルスプリングにより、車高を40mmリフトアップ。この結果、足元のサイズ設定に余裕ができ、ディーン・クロスカントリーにトーヨータイヤ製オープンカントリーR/Tを組み合わせたことができた。

SPECIFICATIONS

PRODUCE	IMPRIME
BRAND	VOLKSWAGEN
MODEL	HIGH up!
MODEL YEAR	2015
WHEEL	DEAN CROSS COUNTRY (15-6.0J / +32 / 4H-P.C.D.100)
TIRE	TOYO OPENCOUNTRY R/T (165/65R-15)
SUSPENSION	LIFT UP 40mm (IMPRIME ORIGINAL MODEL)
ROOF RACK	THULE CANYON XT
FRONT BUMPER	MAT BLACK PAINTED
REAR BUMPER	MAT BLACK PAINTED





車高が40mm上がっただけなのに、一段とルックスが良くなったMOVE up!。ちなみに「インプライム」では2ドアモデルをベースにしても、同様に上げることが可能だ。

STYLISH
OUTDOOR
VEHICLES

100万円以下で手に入る(*) ちょいアゲのライトカスタムで仕上げた 個性あふれる水冷フォルクワーゲン!

フォルクスワーゲンup!は、欧州Aセグメントに向けたコンパクトなハッチバックモデル。日本国内では2012年に導入され、2020年まで販売が継続された。軽自動車よりもひと回り大きな車体はドライバーを選ばず、誰でも気軽に運転ができる上、フォルクスワーゲンゆずりの質実剛健さもあって人気を博したクルマだ。また、最高出力115馬力を誇るホットハッチバージョンのGTiや、同社初の電気自動車e-upもラインナップされるなど、話題性にも富んだモデルでもあった。

このup!は生産終了から数年を経た今も、じつは中古車市場では多数の在庫が流通している。しかも、もともと安価な価格設定であったことから、フォルクスワーゲンブランドにしては、手軽に購入できるプライス

を掲げた個体が多いのも特徴だ。

大阪府東大阪市で水冷フォルクスワーゲンの専門店を営む「インプライム」が製作した車両は、そんなup!の4ドアモデル「HIGH up!」をベースにしたもの。鮮やかなトルネードレッドのボディカラーが目を一瞬で惹きつける。「CamprimeUP! (キャンプライムアップ)」と名付けられたこのクルマは、中古車市場の在庫をベースに「インプライム」がカスタマイズを加えており、オリジナルの40mmリフトアップスプリングや、低グレードの樹脂風にペイントした、マットブラックの前後バンパーなどが特徴的なライトカスタムで仕上げられている。

カスタムパーツの少ないup!だが、専用のリフトアップスプリングを製作したことで足元のセッティングにおける自由度が改善さ

デモカーのベースモデルはASGトランスミッション採用車。MTとATの良いところを組み合わせたいようなトランスミッションでAT限定免許でも運転が可能。



れ、クリムソン製ディーン・クロスカントリーにトヨタタイヤ製オープンカントリーR/Tという、SUVみたいな組み合わせも可能になった。

もうひとつ、外観上のポイントは前述した前後バンパー。じつはup!には車体同色のバンパーしか用意されておらず、ベースグレードに多いマットブラックのバンパーが用意されていないのだ。



CHECK!

足元は純正同様の15インチのままディーン・クロスカントリーのマットブラックへ変更。お好みでメッキのセンターキャップを外し、オープンナットで履くと、さらに無骨に見える。なお、オリジナルのコイルスプリングはパーツ単体の販売も予定中。リフトアップは車検対応可能な40mmだ。製作した「インプライム」の長尾さんによると、「3回程試作を重ねて作ったというスプリングは純正のフニャフニャ感がなくなり、良い感じにドイツ車の乗り心地に仕上がって純正より乗り心地が良くなったと思います!」。



CHECK!

前後のバンパーはマットブラックでペイント。ベースグレードによく見られるような樹脂製バンパー仕様に仕上げている。なお、フロント・エンブレムやドアミラーもブラックアウト済みだ。



写真のデモカーはリアウインドウもスモーク加工済み。全体のトーンをレッド&ブラックで統一している。

CHECK!

ルーフキャリアはスーリー製のキャンオンXTにウイングバーEVOを組み合わせている。



VOLKSWAGEN UP! × DEAN CROSS COUNTRY

CamprimeUP!



デモカーのベースモデルはASGトランスミッション採用車。MTとATの良いところを組み合わせたいようなトランスミッションでAT限定免許でも運転が可能。

ボディカラーは純正色のまま。写真のトルネードレッドの他に、キャンディホワイト、ライトブルーやリフレックスシルバー、ナイトブルーなども製作中だ。ブラックだけは前後のバンパーが同化してしまうため、効果が薄まってしまう。



※オプションや諸費用別。またベース車両の程度・価格によっては車両本体価格が100万円を超える場合もある。